

15 少年の非行防止・保護対策

非行少年を生まない社会づくりに向けた取組

警察では、非行の前兆となる問題行動等をいち早く発見し、適切な対応をとることで、非行化を防ぎ、また、非行に走った少年には積極的に手を差し伸べ、その立ち直りを支援するなど、少年の非行防止・健全育成活動を推進しています。

■少年サポートセンターによる各種支援活動

少年サポートセンターは、ヤングテレホンや面接相談等を通じて、問題を抱える少年や家庭に対して継続的支援を積極的に行い、相談者と一緒に問題解決を図っています。また、非行少年の立ち直り支援として、就学・就労支援や生産体験活動等を実施し、個々の少年の状況に応じた支援活動を推進しています。



【農業体験活動の様子】

■非行防止教室等の開催

児童・生徒等の規範意識の醸成のため、チームティーチング方式の非行防止教室、薬物乱用防止広報車「あすなろう号」やDV等視覚教材を活用した薬物乱用防止教室、SNSを含むインターネットの適正利用について指導する情報モラル教室を開催しています。



【非行防止教室の様子】

■有害環境の浄化活動

スマートフォン等による有害情報閲覧を防止する活動（フィルタリングの普及）、たばこ、酒、有害図書類等の有害商品の遮断活動、繁華街等における街頭補導活動等の少年を取り巻く有害環境の浄化活動を実施しています。

児童虐待事案の概況

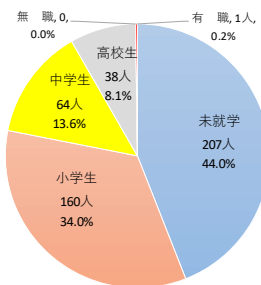
■令和2年中における児童虐待事案の認知・通告状況

令和2年中の児童虐待認知件数は459件、うち児童相談所に通告した児童の通告人員は470人と、統計を取り始めた平成11年以降、認知件数、通告児童人員とも最高を記録しました。

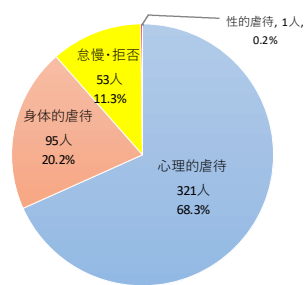
また、通告児童人員のうち、虐待行為の態様別では、心理的虐待が321人と、全体の約7割を占めており、学職別では未就学と小学生で約8割を占めています。

| | H28 | H29 | H30 | R元年 | R2年 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 児童虐待認知件数 | 122 | 162 | 296 | 417 | 459 |
| 通告児童人員数 | 160 | 244 | 404 | 445 | 470 |
| 事件検挙件数 | 6 | 3 | 8 | 11 | 7 |

【過去5年間の認知通告等状況】



【通告児童 学職別】



【虐待行為 態様別】

■警察官と児童相談所職員との合同研修会の実施

平成27年から毎年、警察官と児相職員の児童虐待事案に対する現場対応能力向上及び相互理解を深めるために合同研修会等を実施しており、令和2年中は10月に、臨検・捜索等の合同訓練（ロールプレイング）を実施しました。



【合同訓練の様子】